

テラヘルツ応用システム研究会プログラム

2014年8月7日(木) 午前10時～午後5時、沖縄県市町村自治会館

主催 テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

協賛 応用物理学会テラヘルツ電磁波研究会、日本分光学会テラヘルツ分光部会、
電子デバイス研究専門委員会、マイクロ波研究専門委員会、
マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究専門委員会

- | | | |
|----|-------------|--|
| | 10:00～10:05 | 開催挨拶 中舎安宏 委員長 |
| 1 | 10:05～10:45 | 【招待講演】テラヘルツアプリケーションを拡大するビーム制御技術
門内靖明 (東大) |
| 2 | 10:45～11:05 | 高電子移動度トランジスタとボウタイアンテナを集積した高電流感度テラヘルツ受信素子
忽滑谷拓郎、鈴木左文、浅田雅洋 (東工大) |
| 3 | 11:05～11:25 | バラクタダイオード集積による共鳴トンネルダイオードテラヘルツ発振器の広い周波数掃引
北川成一郎、鈴木左文、浅田雅洋 (東工大) |
| 4 | 11:25～11:45 | Zero-bias GaAsSb/InAlAs/InGaAs tunnel diodes for MMW-THz detection
M. Patrashin, N. Sekine, A. Kasamatsu, I. Watanabe, I. Hosako, T. Takahashi, M. Sato, Y. Nakasha and N. Hara (NICT, 富士通) |
| | 11:45～13:15 | 昼休み |
| 5 | 13:15～13:55 | 【招待講演】バイオテンプレート法による3次元構造材料の作製と電波応用
鎌田香織 (東工大) |
| 6 | 13:55～14:15 | 普及時期に入りつつあるテラヘルツ波の文化財調査への応用
福永香 (NICT) |
| 7 | 14:15～14:35 | 自由空間法とTDSを使った複素比誘電率測定の周波数連続性
登坂俊英、藤井勝巳、福永香、笠松章史 (NICT) |
| 8 | 14:35～14:55 | 広帯域自己補対アンテナにおける共振モード
伊藤弘 ¹ 、吉松俊英 ² 、山本洋 ¹ 、石橋忠夫 ³ (1北里大学、2NTT デバイスイノベーションセンタ、3NTT エレクトロニクステクノ) |
| | 14:55～15:10 | コーヒーブレイク |
| 9 | 15:10～15:50 | 【招待講演】ITU-Rにおける275GHz以上のスペクトラム動向
小川博世、笠松章史、関根徳彦、寶迫巖 (NICT) |
| 10 | 15:50～16:10 | 300GHz帯LTCCマイクロストリップ線路導波管変換器の損失解析
田島卓郎、ソンホジン、矢板信 (NTT) |
| 11 | 16:10～16:30 | テラHz帯モジュール実現に向けたフリップチップ実装の可能性
川野陽一、松村宏志、芝祥一、佐藤優、高橋剛、牧山剛三、鈴木俊秀、中舎安宏、岩井大介、原直紀 (富士通) |
| 12 | 16:30～16:50 | 位相中心を用いた300GHz帯標準ホーンの利得決定
張間勝茂、登坂俊英、藤井勝巳、福永香 (NICT) |
| | 16:50～16:55 | 閉会挨拶 矢板信 副委員長 |
| | 17:00～ | 懇親会 (小会議室) |